



第126回 かわさき起業家オーディション 「かわさき起業家賞」受賞

組織を強くする 「オンライン運動会」



株式会社運動会屋

代表取締役 CUO
(Chief UNDOKAI Officer)
米司 隆明

株式会社運動会屋は「運動会」の企画・運営・プロデュースを行っています。運動会は、明治時代に始まった日本ならではの文化。年齢や立場にかかわらずみんなで力を合わせて心をつにできる素晴らしい行事です。

主な顧客はIT、製薬、メーカー、金融、食品関係などさまざまな業界の企業。組織やチームの結束力を高めるために、社内行事の一環として運動会が取り入れられています。

もともと民間企業で働いていて、2007年に創業しました。きっかけは会社員時代の過酷な経験。気合と根性の営業方針、どんどん辞めていく同期、チャットで陰口を言い合う風土…心を病んでしまう同僚もいて、自分が何のために働いているのか分からなくなってきました。そこでふと、「スポーツの世界ならこんなことないのに」と思ったのです。私は若い頃からずっと野球をやっていたので、チームでのスポーツは絆を深め、生きる原動力を与えることを実感していました。そして「スポーツの力で世の中を変えよう」と起業を決意。想いに賛同してくれた方々の協力を経て「運動会屋」を立ち上げました。今では従業員も50人近くに。そして2020年からは「オンライン運動会」という新たなサービスをスタートしています。

■受賞したビジネスに至った経緯

2019年には、国内外で年間200件以上の依頼が無い込むようになり、会社は順調に成長していました。しかし2020年3月の緊急事態宣言を契機に、受注予定だった運動会はすべて中止になりました。

先の見えない状況の中で社員と共に考えたのは「運動会屋」の存在意義でした。私たちのミッションはなんだろう？ということを中心に徹底的に議論。そして出た答えは「人を元気にすること」「絆を深めてもらうこと」でした。それならば、今こそ運動会が必要なのではないかと。リモートワークが主流になったことで、新入社員の顔を何ヶ月も見ることがない企業もあると聞きました。時世柄どの会社も、社員のコミュニケーション不足、運動不足に悩んでいます。そこで「オンラインで運動会をやってみよう」というアイデアが出てきたのです。

そして、改めて運動会を構成する要素は何か、棚卸しをしました。運動、集合、協力、競争、応援です。これはリモートでもできると確信しました。当社でもZoomでのミーティングがほとんどで、オンライン環境が身近になってきたことも自信になりました。そこからは従業員が一丸となり、オンライン運動会の開発に着手。運動会は一つのプラットフォームなので、どんな競技を入れても盛り上がります。例えば、今話題の謎解きクイズやeスポーツなどを、開発した種目と組み合わせてもいい。運動会という仕組みを活かして、あらゆる展開にできる面白さがありました。

■サービスの特徴

当社のオンライン運動会の魅力は、「組織で働く人々の絆を深めて、心をつなぐことができること」です。単なるエンターテインメントの枠組みに留まらず、お客さまが抱える課題を解決に導くような運動会を提供しています。例えば、自粛中に新入社員と対面できていないことに悩む企業なら、参加者のキャラクターを引き出せるような種目を入れて、新入社員の人柄を知ってもらいきっかけをつくれます。オンライン運動会を手がけるイベント会社は他にもありますが、「何のために運動会をやるのか」までを深掘りしてプロデュースできることは、私たちだけの強みだと思っています。

また、オンライン運動会ならではの魅力は、参加者一人一人の表情をしっかり見られること。集合型の運動会は、どうしても仲良しだけで固まってしまうところがあるので、全員の人となりが見えにくいというマイナス点もあります。でもオンラインなら、参加者全員にスポットライトを当てることができるし、その声を聞くことができる。そこは集合型の運動会にはない長所だといえると考えています。

人気の種目は、家にあるものでしりとりをする「借り物しりとりリレー」、チームで筋トレをしながらぴたり60秒を目指す「筋肉算用」など。オンラインながら大きな盛り上がりを見せており、お客さまからは「チームの結束力が高まった」、「社内交流を深めることができた」など、うれしい感想をいただいています。また、オンライン運動会の後、社員それぞれのご自宅へ飲み物と食事をお届けして、懇親会をセットで開催するサービスも人気があります。

■現状の課題

オンライン運動会を始めた当初は多くの課題がありました。ネットワークトラブルに頭を悩ませることも多かったし、点数の集計中にパソコンがフリーズしたことも。しかし、その後ハイスペックパソコンを導入

し、ネットワーク環境を強化させたので、現在は問題なく進められるようになりました。

環境が整った今、あらためて感じることは熱量では集合型の運動会になかなかないが、オンライン運動会とのハイブリッド開催で生まれる新しい価値があるのでは？ということです。ウィズコロナ時代の到来とともに、熱量が高まりやすい集合型と、参加する際に場所にとらわれないオンラインの特徴を組み合わせた運動会の展開をスタートしています。集合型のエネルギーとオンライン運動会でのシナジーを生み出し、それぞれをレベルアップさせたいという想いでサービスの向上に取り組んでいるところです。

■今後の展開

リモートワークが進む中、社員間のコミュニケーション不足に悩んでいる企業が増え、孤独を感じている従業員も多いのではないのでしょうか。そうした企業にどんどん運動会をやってもらって、元気になってほしいと考えています。

業務以外の場で交流を深めることは、お互いを知り、心の距離を縮めます。心理的安全性が確保されると、結束力が高まり、ひいては生産性を上げることへとつながります。現代社会の閉塞感を、運動会の力で打ち破っていきたい。これは会社の売上や利益には関係なく、私個人の願いでもあります。この会社を立ち上げたのは、運動会を通して世界を良くしたい、という想いからでした。リアル運動会に関しては、これまで海外7カ国で開催をしています。最近、カナダ、ドミニカ、ブラジル、ペルー、ポリビア、パラグアイ、アルゼンチンからの参加もあり、オンライン運動会はアメリカ、ルワンダ、南米など現在9カ国に広がっています。海外での開催経験から、運動会に国境はないと確信しています。運動会には、『みんな違って当たり前、でもみんな同じ人間』であることを思い出させてくれる特性があります。多様性を受け入れ、共に手を取り合い、ゴールを目指す仕組みは世界の『理想の姿』だと思います。そして今進めているハイブリッド型の運動会は、その可能性を一気に高めるものです。リアル運動会の熱量をそのままに、遠く離れた場所にいる人々をつなぐことができます。この両者の良さを融合させた「ハイブリッド運動会」を軌道に乗せ、日本だけではなく、海外進出も本格化させたいと考えています。

多くの人にとって運動会は、単なるイベントの一つかもしれません。ですが、私たちは、運動会が仕事や人生を変える「哲学」にもなり得ると考えているのです。私たちの活動をさらに広げることによって、「UNDOKAI」を世界の共通語にすることを目指していきます。

■エントリーを検討中の方へ一言

迷わずやってみるべきだと思います。応募書類を作成することで、これまでやってきたことを整理して原点に立ち返ることができますし、自分たちの価値を客観的に分析するとても良い機会になります。また、もし受賞できれば世の中に認められたという自信になりますし、新しい繋がりもできる。良いことづくめなので、ぜひチャレンジしてみてください。

会社名：株式会社運動会屋

住所：〒150-0034

東京都渋谷区代官山町9-10 SodaCCo 3F

電話番号：☎03-6416-0430

メールアドレス：contact@udkya.com

ホームページ：http://www.udkya.com